

2016～2017年度 防府ロータリークラブ

ロータリー財団地区補助金事業報告書

内閣府「障害者施策総合調査」(2008)によると、40.5%の障害者が何らかのスポーツ・文化芸術活動に参加していると回答しているのにも関わらず、日本では障がい者がスポーツを楽しむための環境整備について、十分な支援が行えておらず、日常生活の中でスポーツを楽しむ土壌が形成しきれていない実情があります。しかし、パラリンピック競技のように、スポーツを通じた活動は、障がい者に対する関心や理解を高め、それは「障がい」に対する認識を変化させていきます。また認識の変化は、インクルーシブ(注:どんな人でも受け入れられる)な社会の創造に寄与する事になると思います。

現在、防府市体育協会は車椅子によるバスケットボールに対しての支援を行い始めています。昨年は、Girls' Camp in 防府(車椅子バスケットボール女子合宿)の運営支援を行っており、今後も車椅子によるバスケットボール支援を行う予定としております。しかし、私達の調査結果としては、防府市における障がい者に対するスポーツ支援はまだ環境整備が必要な状況でした。そこで私達は、障がい者に対するスポーツ支援として防府市体育協会へ「スポーツ用車椅子」を寄贈することにしました。

贈呈式は例会の中で行い、ロータリー会員に対して、障がい者へのスポーツ支援に対する研修会として講演会を行いました。また、防府市体育協会が運営支援を行っております「Girls' Camp in 防府(車椅子バスケットボール女子合宿)」の見学も行い、ロータリー会員に、障がい者に対する支援意識の啓発を促すとともに、さらに各会社でこの事業を周知することで、障がいのある人々の社会参加の推進や、市民に対して障がいのある人々に対する理解を深めることに繋がることを目指しました。

★事業日程

- 2016年8月から10月 社会情勢調査
関係団体に対してのヒヤリング
- 2016年10月から12月 贈呈式準備
- 2017年 1月24日(火) 贈呈式 講演会 キャンプ見学

★場所 防府市スポーツセンターはソルトアリーナ



贈呈式 及び 会員研修会（講師 車椅子バスケット日本女子代表 財満いずみさん）



全日本女子車椅子バスケットボールチーム合宿 見学

